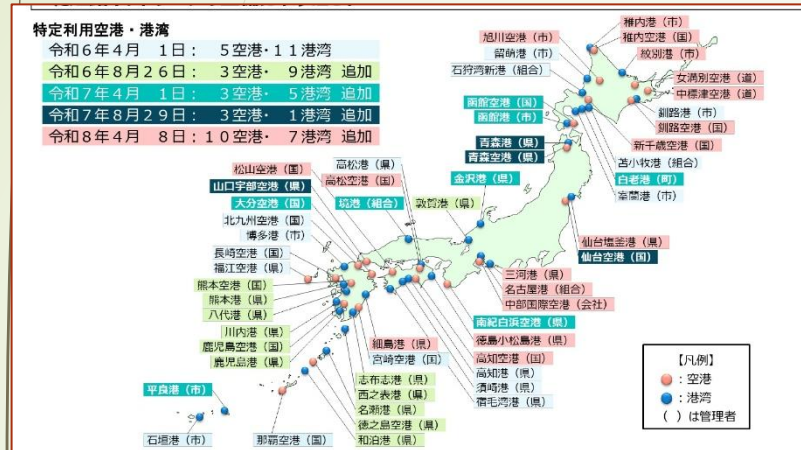


全国で進む軍事化 その2

特定利用港湾・空港(道路)の拡大

「特定空港・港湾」の指定は、2022年に閣議決定をした「安保3文書」の中の国家安全保障戦略に基づき、防衛力強化のため自衛隊や海上保安庁が平時から利用できるようにするためのもの。2024年4月に最初の5空港・11港湾が指定されて以降、段階的に追加指定され**現在対象施設は24空港、33港湾の57か所**になっている。今後も増加の予定。

愛知県は、今年4月に三河港・名古屋港・中部空港が指定された。



問題点

- ①戦前港湾・空港は軍事優先で使用され多くの犠牲が出た。そのため、戦後、港湾は自治体管理になり平和・民生利用になった経緯があり、これに逆行する。
- ②平時の時には自衛隊が優先的に使う法的根拠はない。
- ③平時から軍事活動に使用されれば、「ジュネーブ条約追加議定書52条」により軍事目標になる。

より実戦化する軍事演習

レゾリュート・ドラゴン2026

日米一体の「敵基地攻撃」戦争準備

6月20日から30日まで、南西諸島や九州全域で陸上自衛隊西部方面隊と第3海兵隊機動展開部隊のほか陸海空軍の9600名が参加し、陸上自衛隊の領域横断作戦と米海兵隊の機動展開前進基地作戦を踏まえて、指揮系統や作戦運用を一体化させた実戦的な日米の相互連携を図るための訓練。陸自12式地对艦誘導弾、米海兵隊のネメシス(無人地对艦ミサイル搭載車両)・マデス(電磁攻撃と実弾攻撃が可能な防空システム)を展開。



宮古島に初飛来したオスプレイ。米兵を運んだのは小牧ん吉のC130輸送機

バリエントシールド2026

「核」も用いた中国包囲網を想定した攻撃拠点化か！

同時期に米海軍のジョージ・ワシントン空母打撃軍など航空機200機以上と水上艦艇20隻が参加し、日本・オーストラリア、カナダ、ニュージーランドが参加。自衛隊員4100人、車両150台、航空機60機が参加。鹿児島県の鹿屋航空基地には、米陸軍の「タイフーン」(射程1600kmのトマホーク運用可能な対艦・対地攻撃用システム)と高機動ロケット砲システムハイマースが配備。タイフーンは日本に常設か？トマホークは核弾頭搭載可能なミサイル。



鹿屋基地に置かれたタイフーン。

東富士演習場での沖縄米軍(海兵隊)によるハイマース射撃訓練

ハイマースはミサイルも装填できる多連装ロケット砲。東富士演習場での訓練は2回目。今回の演習は、東富士のミサイル基地化と一貫。地元住民・自治体は訓練反対の姿勢。

